

国語 一一一	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
-----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）  
（ぶん）にあてはまること  
ばを、あとの  
からえらび、かきまし  
よう。

① 雨あめが（あめ）とふりはじめた。

② 日にちよう日びは、とても（にち）とすご  
すことができた。

③ はさみの先さきは、（さき）いるので、人ひと  
にむけるとあぶない。

④ （みち）の道みちをあるく。

でこぼこ とがって のんびり  
しとすと

国語  
二一

第一学年及び第二学年の内容  
いろいろな言葉②

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の（ ）にあてはまることば  
を、あとの [ ] からえらび、かきましよう。

① はなちゃんは、とても（ ）ので、  
なかなかった。

② かれは、だれにでも（ ）。

③ 野きゅうのれんしゅうにいつも（ ）  
とり組んでいる。

④ かれは、（ ）だけに、よくあそぶ。

がまん強い

まじめに

やさしい

元気な

つぎの文の（ ）に当てはまることば

を、あとの

からえらび、書きましよう。

① お母さんがむかえに来てくれたので、  
（ ）した。

② 大きく元気なあいさつに（ ）した。

③ おおぜいの人の前で話すのは、とても  
（ ）する。

④ 明日は、遠足なので（ ）だ。

きんちよう  
あんしん  
たのしみ  
かんしん

名前 なまえ

年 ねん

組 ぐみ

番 ばん

取り組んだ日

月

日

つぎのことばでつよくうふうぶんを線せんで囲かこみましよう。

①



あめ



あめ

②

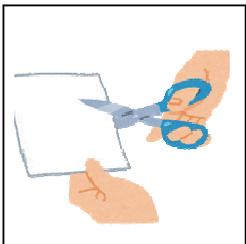


はし



はし

③

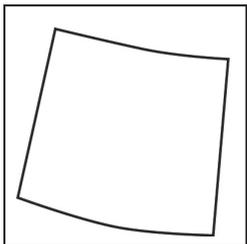


きる

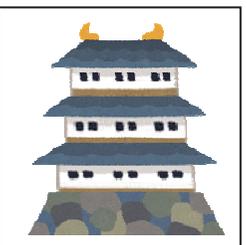


きる

④



しろ



しろ

国語  
五—一

第一学年及び第二学年の内容  
対義語

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の ぶん \_\_\_\_\_ とはんたいのいみのことば

が ( ) に入ります。あてはまることばを、  
あとの  からえらび、( ) にかき  
ましょう。

① このノートは、たてよりも ( ) のほう  
が長い。なが

② つくえは大きいおおが、いすは ( ) 。

③ このようふくの外そとがわは、じみだが、( )  
がわは、はです。

④ この教室きょうしつの上うへは音楽室おんがくしつで、( ) は図工室ずこうしつだ。

下した

よ

内うち

小さいちい

国語  
六一一

第一学年及び第二学年  
なかまの言葉

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

ことば

はい

ことば

つぎの言葉のグループに入る言葉を、あとの

ことば

せん

からえらび、その言葉を線でかこみ

ましよう。

くだもの

りんご

じゃがいも

ガム

ねこ

キャベツ

からす

パイナップル

なす

バナナ

チョコレート

メロン

ねぎ

みかん

キャラメル

あひる

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの絵に<sup>え</sup>あう言葉になるように、<sup>ことば</sup>しかくの中<sup>なか</sup>にひらがなをかきましょう。

①



お

さ

ん

②



お

さ

ん

③

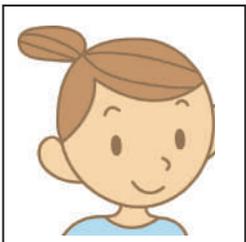


お

さ

ん

④



お

さ

ん

名前

年

組

番

取り組んだ日

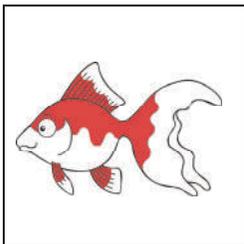
月

日

つぎの絵に<sup>え</sup>あう言葉になるように、<sup>ことば</sup>四角の中に<sup>しかく</sup>  
<sup>なか</sup>

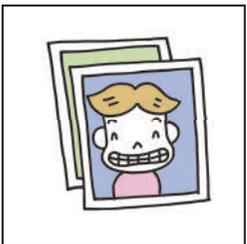
ひらがなを<sup>か</sup>書きましょう。

①



きんぎょ

②



しんしん

③



きょうし

④



びいん

名前

年

組

番

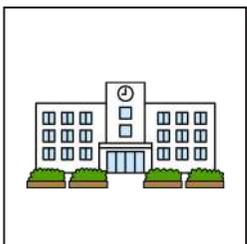
取り組んだ日

月

日

つぎの絵えにあう言葉ことばになるように、しかくの中なかにひらがなをかきましょう。

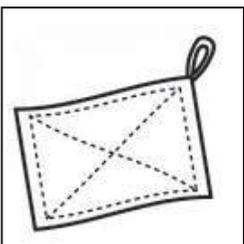
①



が

こう

②



ぞうき

③



は

ば

④



え

ぴっ

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の<sup>ぶん</sup>□に、「お」と「は」のどちらかをかきましよう。

①

たあめをたべる。

②

い。

よしのさん

、足<sup>あし</sup>がはや

③

にが、かわ<sup>はい</sup>に入った。

④

そら

、青<sup>あお</sup>い。



国語 十二—一	第一学年及び第二学年の内容 てん(一)	名前	年	組	番
------------	------------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

ぶんしょう

つぎの文章は、てん(一)をうっていません。

ただ ばしよ

正しい場所にてん(一)をうちましよう。

そうげん

けんじ よぞら ほし

草原にねころんだ賢治は夜空の星をな

がめました。

ざ ざはくちようざ

こと座わし座白鳥座。

たの せいざ けんじ こころ ひろ

楽しい星座のせかいが賢治の心に広

がりました。

国語 十三—一	第一学年及び第二学年の内容 かぎ(一) (二)	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	----------------------------	-----------	---------	---------	---------

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

つぎの文章は、かぎ(「」)をつかっています。正しい場所にかぎ(「」)をかきましよう。

このお話は、手塚治の小さいころのできごとです。

お母さん、頭あたまがいたいよ。

だいじょうぶ、きつとよくなるからね。

お母さんかあは治おさむのまくらもとで、やさしく

声をかけました。

つぎの文ぶんを読み、述語じゆつごに線せんをひきましよう。

①すすむくんが、かけていきました。

②はなごさんは、山やまの上うえにすんでいます。

③あたらしいようふくが、とどきました。

④小鳥ことりは、はばたきました。

⑤五年生ごねんせいのあねが、とても早くはやおきた。

国語 十五—一	第一学年及び第二学年の内容 「です」「ます」	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
------------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

取り組んだ日  
月 日

つぎの文ぶんししょうを「です」「ます」「でした」「ま  
した」でおわる文ぶんししょうにかきなおしましょう。  
かきなおしたいところに＝をひき、そのよこ  
にかきなおしたことばをかきましよう。

つりました。

【れい】さかな魚をわった。

あるところに、おじいさんとおばあさんがいた。

ふたりはたいそうこまっていた。それというものも

まん月のばんに、いつもおにたちがわるさをしに

くるからだ。